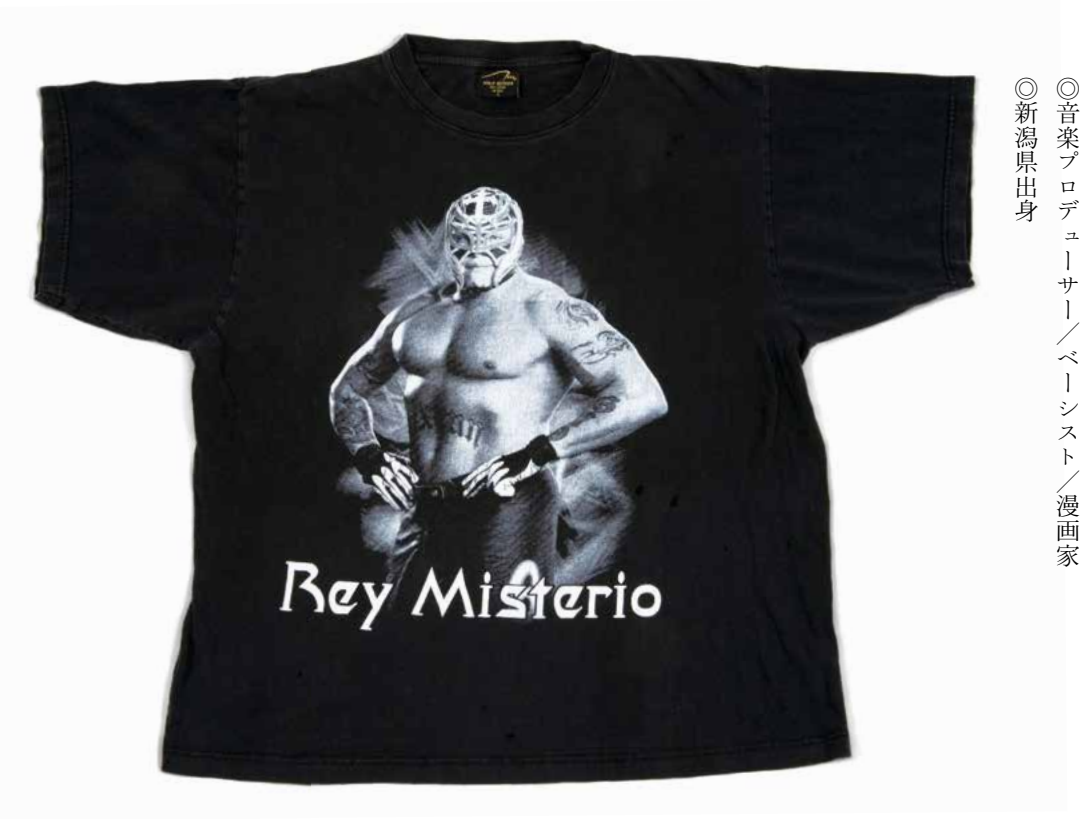
レイ・ミステリオ

◎36歳男性
◎音楽プロデューサー／ベーシスト／漫画家
◎新潟県出身



田んぼに囲まれたのどかな田舎に生まれる。小学生のころから足が速く、中学校では陸上部に入る。種目は３０００メートル。部活以外することがなかったので練習に打ち込むが、そこまで真面目でもないし、途中で膝も悪くなったため、陸上では目が出ないと徐々に諦めの気持ちに。

中学生のときは尾崎豊など聴いていたが、高校生になるとブランキー・ジェット・シティやミッシェル・ガン・エレファント、洋楽ではＮＩＲＶＡＮＡ、Green Day、ＯＦＦＳＰＲＩＮＧなどロック系を聴くようになった。友達とバンドを組むが、ギターはやりたいひとが多くやらせてもらえなかったので、ベースを始める。

高校を卒業すると普通は東京に進学するところ、単純にひねくれていたので、行ったこともない大阪の大学に進む。その大学で本格的に音楽を始めた。当時の大阪はちょうどボアダムスの影響が強いノイズ全盛期だったので、自分のなかになかったアヴァンギャルドな音楽に触れるように。20歳のころに組んでいたノイズバンドは、そのシーンでは気に入られていて、海外アーティストがくるとブッキングで呼ばれることもあった。

とはいえ目先の事ばかりで、大学卒業後については真面目に考えたことがなく、な

んのプランもなし。大学院に進学する道もあったが、ちょうど京大・阪大が入学人数を減らした時期で入試に失敗。音楽をやるしかなくなった。

24歳のころ、働かないとまずいんじゃないかと思い大阪の広告会社に就職。しかし1年半経ったころ、新しいバンドに誘われて退職。そのバンドはうまく行かず脱退し、新たにデザイン系の会社に就職するが、やりがいを感じられず離職。これはもう東京に出て、音楽に近いところで仕事をするしかないと思い、なんのあてもなく28歳で上京する。

知り合いから渋谷のライブハウスを紹介してもらい働き出すが、同時期に大阪からいまのバンド「あらかじめ決められた恋人たちへ」のメンバーも上京してきたので、バンドを組むことに。２００９年、いま所属する会社の立ち上げに誘われて就職。当時気になっていたバンド「神聖かまってちゃん」を引っ張りだし、マネージャーになる。

私生活では去年結婚。現在はマネージャー業とバンド活動を続けながら、漫画家として本も出版するなど、多忙な生活を送っている。

ルチャのTシャツは東京に来てから、下北沢の古着屋で買ったもの。こういう雰囲気のTシャツをよく着ている友達がいたから、そいつにあげようと買ったのだが、あまり着ているのを見たことがなかったので、返してもらった。格闘技は好きだが、ジャンルに関係なく、いいなと思うと買ってしまう。たくさん溜まったTシャツはずいぶんまとめて処分したけど、これは捨てられなかった。状態もいいし、デザインもサイズ感も全部いい。